



市子連だより

新規事業

第2回 親子レクリエーション

令和5年7月30日(日)
しおかぜみなと

親子で楽しめる新規事業が満を持して開催されました。160組の親子が来場し、楽しいひとときを過ごしました。屋外の出店コーナーで型抜き・輪投げ・射的・ヨーヨー釣り・スーパーボールすくいに興じたり、地元名物の那珂湊焼きそば・から揚げ・フランクフルト・かき氷・ラムネを味わい縁日気分を堪能しました。体育館内ではモルック・ラダーゲッター・ユニカールが体験でき、ニュースポーツで体を動かしました。



5年ぶりの
開催!!

第8回 親子ふれあい地引網

令和5年8月27日(日)
磯崎漁港

毎年大人気の地引網が5年ぶりに新たな会場で開催されました。親子100組、総勢336名が参加し、磯崎漁港で網を引きました。引き上げられた網にかかった魚を見て歓声を上げ、お土産の魚をもらって喜ぶ子どもたちの姿が見られました。また、「海岸クリーン運動」にも真剣に取り組みました。



第41回 市子連マラソン大会

令和5年11月26日(日)
ひたちなか市総合運動公園陸上競技場

向寒のみぎり、第41回市子連マラソン大会が開催され、市内の117名のキッズランナーが出場しました。低学年1,300m、高学年1,800mの走破にチャレンジした子どもたちは、スタンドから大きな声援を受けながら、力いっぱい駆け抜けました。



大会結果(上位入賞者) 低学年:1,300m 高学年:1,800m

<1年男子>

1. 安東 和希(東石川)
2. 宝田 凜(東石川)
3. 多田 諭弘(東石川)

<2年男子>

1. 野上 蒼太(津田)
2. 橋本 圭吾(長堀)
3. 猪狩京ノ介(前渡)

<3年男子>

1. 引田 晴馬(市毛)
2. 小林 亮斗(長堀)
3. 鈴木 結翔(外野)

<4年男子>

1. 工藤 琉渡(外野)
2. 和田 遠篤(勝倉)
3. 鬼丸 陽人(中根)

<5年男子>

1. 原田 隼利(勝倉)
2. 伊藤 虹太(市毛)
3. 猪狩桜史郎(前渡)

<6年男子>

1. 風間 仁斗(湊三)
2. 井岡 蒼佑(津田)
3. 飛田 光輝(高野)

<1年女子>

1. 綿引 紬(勝倉)
2. 磯崎 楓(津田)
3. 横山 佳奈(東石川)

<2年女子>

1. 平牧 凧紗(前渡)
2. 前嶋 茜(三反田)
3. 飛田 麻希(高野)

<3年女子>

1. 栗原 雫(津田)
2. 金久保玲奈(高野)
3. 馮 陽珠(長堀)

<4年女子>

1. 中道 絢子(田彦)
2. 小島 優菜(外野)
3. 三橋 凧紗(勝倉)

<5年女子>

1. 根本 紗南(中根)
2. 金久保紗希(高野)
3. 小山田磨旺(長堀)

<6年女子>

1. 小倉 綾(津田)
2. 鈴木 結愛(市毛)
3. 早川 絢女(津田)

第31回 市子連綱引き大会

令和5年11月5日(日) 松戸体育館

小学生15チーム、総勢153名が熱戦を繰り広げました。

- 低学年の部 **優勝**：つなっ2うー(湊二)
準優勝：ポイジャーソルジャー美乃浜(美乃浜)
- 高学年の部 **優勝**：ひかり(湊一)
準優勝：三小グリーン(湊三)



第57回 市子連球技大会

令和5年10月1日(日) 石川運動ひろば

今年度もリアル野球盤形式で開催され、市内全域から32チーム、約250名が出場しました。出撃して

ホームに帰った選手を温かく迎える姿や相手チームにも声援を送る様子が見られ、会場は子どもたちの笑顔と優しさであふれていました。



子ども会育成会活動ニュース

東石川小学区 共栄町子ども会



東石川小学区は現在4子ども会があり、その中でも共栄町子ども会は会員数18名と小さな子ども会になります。少人数ではありますが、レクリエーションや夏祭り、クリスマス会などのイベントには親子での参加で行っています。今年は石川南子ども会との合同のレクリエーションも行い、子ども達の楽しんでいる姿を見たり、親も一緒に体験することで子どもの成長を間近で感じることが出来、子ども達や親も良い経験となっています。

堀口小学区 堀口子ども会



今年度は4年ぶりに堀口夏祭りが開催されました。子ども達は数ヶ月前から週末になると堀口ふるさと太鼓の代表曲である「堀口の夏」や新曲の「夏祭り」の楽曲を練習し、当日は素晴らしい演奏を披露することが出来ました。

また、青年会を中心とした出店で、かき氷や綿あめなどを堪能し、子ども達の笑顔と笑い声が会場に響いていました。

美乃浜学園区 平磯子ども会



令和3年に美乃浜学園開校と共に子ども会を統合し、美乃浜学区育成連合会が開設されました。

4年ぶりに平磯地区でお祭りを開催でき、猛暑の中大人と子どもが一丸になって太鼓を叩き、山車を引いて無事に終えることが出来ました。

また、美乃浜学園区リーダー研修会では、6年生がリーダーとなってナイトウォークラリー、学校宿泊、清掃ボランティア、カレー作りを行い、子ども達には忘れられない思い出になりました。

津田小学区 むつみ駒形子ども会



むつみ駒形子ども会は、会員数の減少により、3年前に2つの子ども会が合併し、活動しています。コロナ禍の影響で8月6日(日)に行われた津田夏まつりが、合併後初の行事となりました。市民運動会にも参加し、不慣れながらも地域の方々のご協力のもと活動の場が広がっています。

何より子ども達の笑顔や楽しんでいる姿を見るのも久しぶりの経験でした。

第30回 市子連かるたとり大会

令和6年1月21日(日) しかぜみなと体育館

年が明けて最初の事業は第30回市子連かるたとり大会でした。54組が参加し、郷土の歴史や文化の詰まった郷土かるたで学年毎に競い合いました。



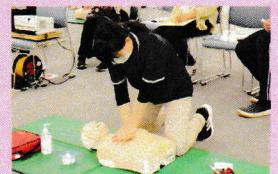
優勝

- 第1学年：笹島恋禾・井上陽菜乃(湊二) 第4学年：野口咲良・海野 凜(湊一)
 第2学年：佐藤愛菜・久保田羽音(湊三) 第5学年：三嶋 創・磯前呼春(湊一)
 第3学年：森 玲愛・秋山妃愛(湊一) 第6学年：磯崎玖斗・根本悠希(美乃浜)

救急救命講習会

令和5年5月14日(日) ふぁみりこらぼ

笹野消防署から講師を招き、救急救命講習会を実施しました。29名が参加し、AED使用方法や心肺蘇生法など、救命処置に関する講習と実技を行いました。





会長あいさつ

ひたちなか市子ども会育成連合会

会長 武石 多津夫

会員の皆様には日頃より市子連及び各地区の事業活動に深いご理解・ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

市子連の事業は、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後感染対策に留意しながら各種事業を実施してきました。そうした中で、親子レクリエーション並びに親子ふれあい地引網については、応募者多数の中参加された親子は楽しい思い出が沢山出来た事と思います。親子レクリエーションは、夏祭り及びニュースポーツに160組の親子が参加、祭り特有の飲食物を頬張り、射的や初体験のニュースポーツを満喫しました。地引網は5年ぶりの開催となり100組の親子が参加しました。網を砂浜に引き上げた際に魚が見えた瞬間は、沢山の笑顔と歓声が鳴り響きました。このような体験は、なかなか味わう事が出来ないので良い思い出になった事でしょう。

市子連の活動目的は、子ども達の成長に必要な団体活動での協調性、最後まで頑張る力や地域の文化を伝承し歴史を学ぶ等です。子ども達の意志で、自由に参加してください。

今後も、各事業を開催しますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

市子連選奨式

令和5年4月8日土
ワークプラザ勝田

ひたちなか市子ども会育成連合会選奨式・総会では、ひたちなか市市長、教育長、青少年課課長にご臨席をいただきました。

市長表彰 優良子ども会 さざなみ子ども会（勝倉） 優良育成指導者 柴崎文彦（湊三）

教育長表彰 優良子ども会 石川南子ども会（東石川） 優良育成指導者 中尾基伸（湊一）

市子連会長表彰 優良子ども会 4団体 優良子ども会育成会 1団体 優良育成指導者 1名



第28回 市子連習字コンクール

12月に作品を募集しました。入賞（金賞・銀賞・銅賞・佳作）作品は2月の表彰式後にふぁみりこらぼ1階に2週間展示されました。



SDGsを身近に!資源回収しよう

ひたちなか市では平成3年から子ども会資源回収活動への補助金交付を行っています。子どもたちが自ら行うことにより、普段【ごみ】として捨てているものが【資源】として再利用できると認識してもらうための事業です。

令和6年度事業（予定）

- 4月 ひたちなか市子連選奨式・総会
- 5月 指導者研修会【救急救命講習会】
- 6月 相撲大会
- 7月 親子レクリエーション
- 9月 親子ふれあい地引網
上期資源回収補助金申請受付
球技大会
- 11月 綱引き大会
- 12月 習字コンクール作品募集
- 1月 かるたとり大会
- 2月 習字コンクール入賞作品表彰式
- 3月 下期資源回収補助金申請受付
指導者研修会【KYT講習会】・事業説明会



子ども会安全共済会に入ろう!

安全共済会は子ども会発展を目的に、事業を行う際に安心して子ども会活動が出来るよう、ケガや疾病の他、誤って第三者にケガを負わせてしまった場合や、物を壊してしまったときに補償が受けられる共済制度です。令和6年度より、安全共済会年会費が220円に変更となります。子ども会育成連合会に登録された子ども会会員、指導者、育成会会員を対象に共済の申請が出来ますので、医療機関を受診した際にはぜひ共済金の請求を！詳しくは安全会担当までお問い合わせください。

編集後記

今年度は新規事業が開催され、子ども会活動が活発化した1年でした。子どもたちの笑顔や親子で楽しむ姿が多く見られ、私たちも大変嬉しく思います。今後も子どもたちの活動を見守り、様々な体験の様子を会員の皆様にお届けします。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

（広報一同）